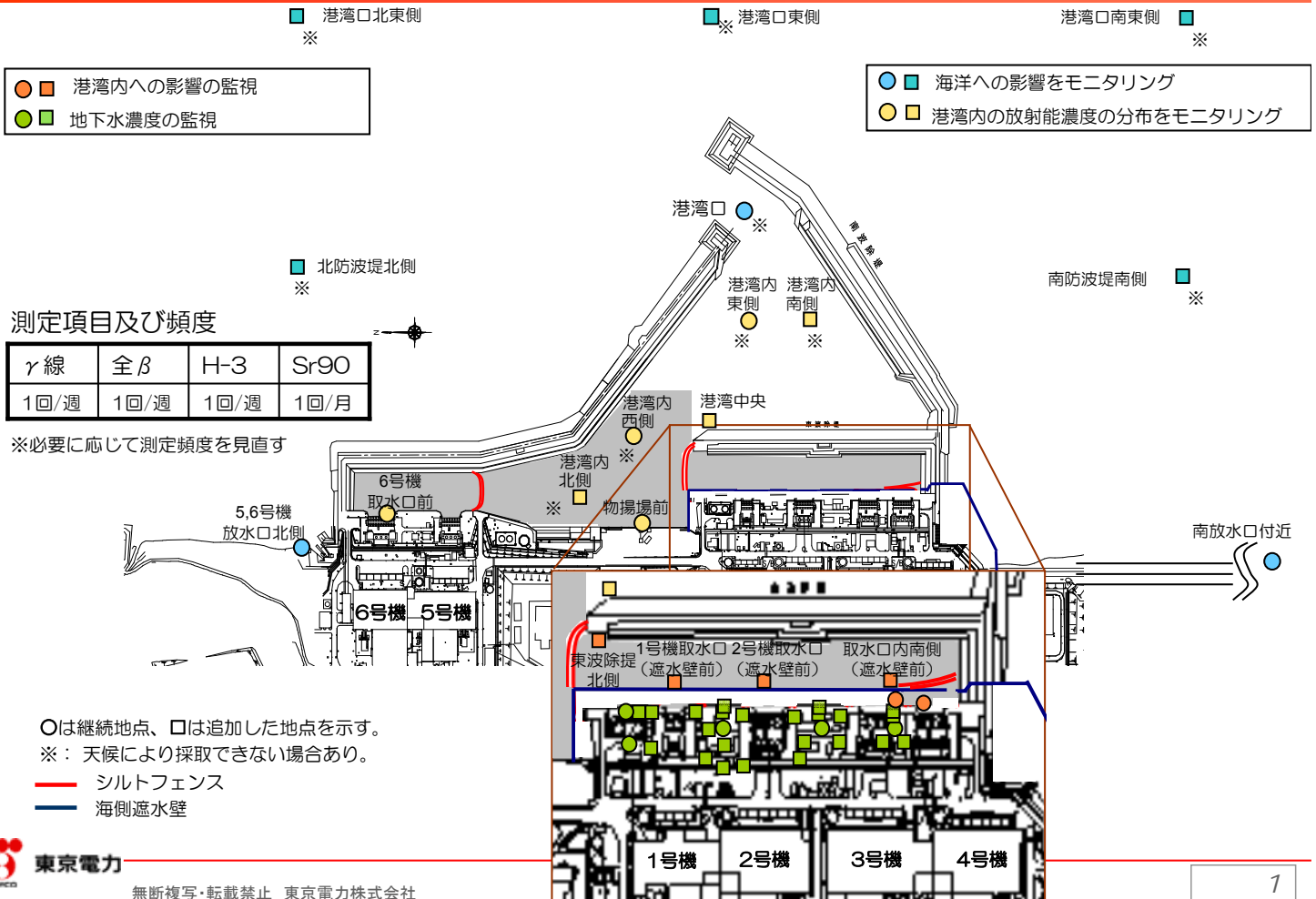


# タービン建屋東側における 地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について

平成26年10月30日  
東京電力株式会社

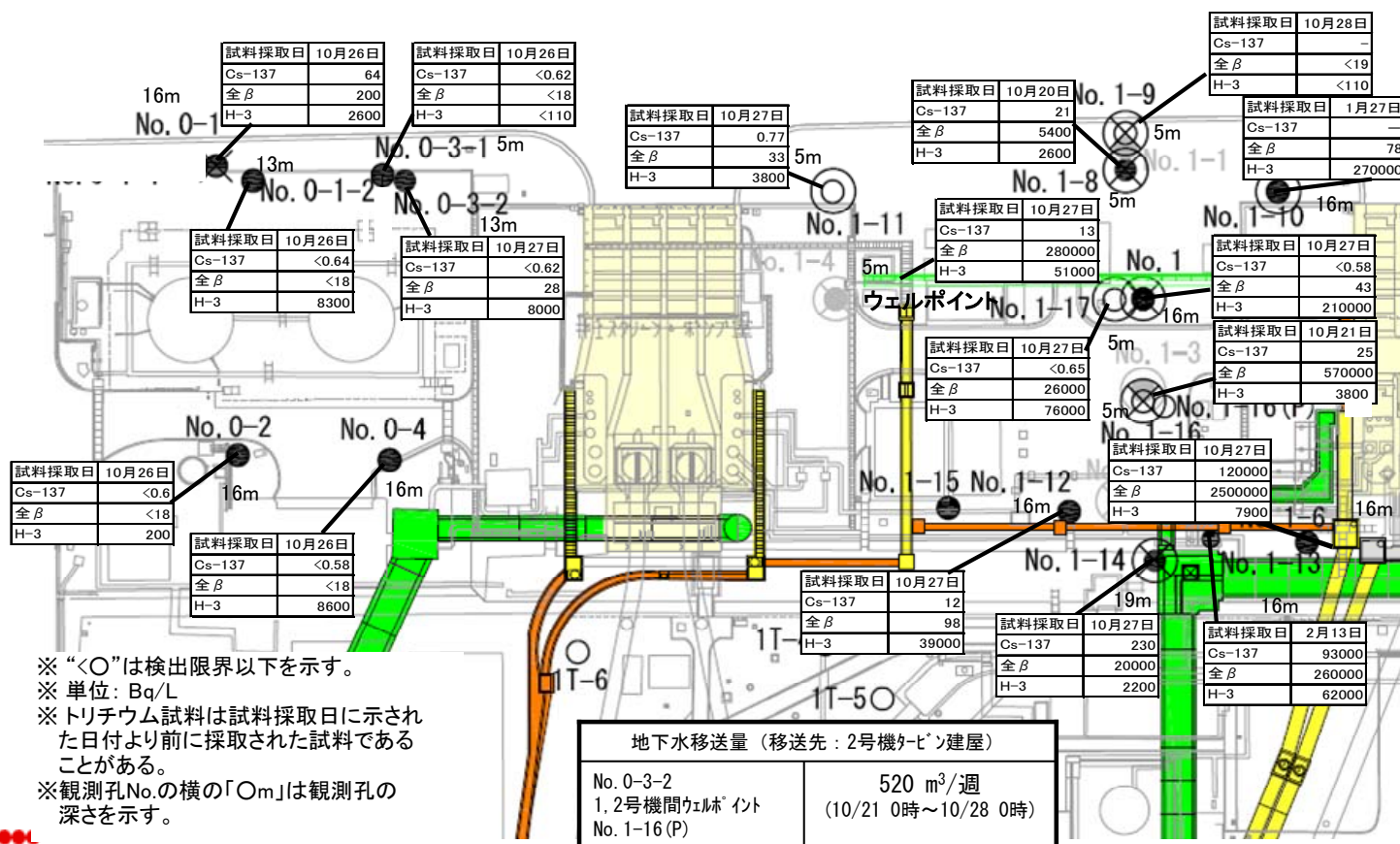


## モニタリング計画（サンプリング箇所）

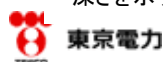


# タービン建屋東側の地下水濃度 (1/2)

<1号機北側、1,2号機取水口間>



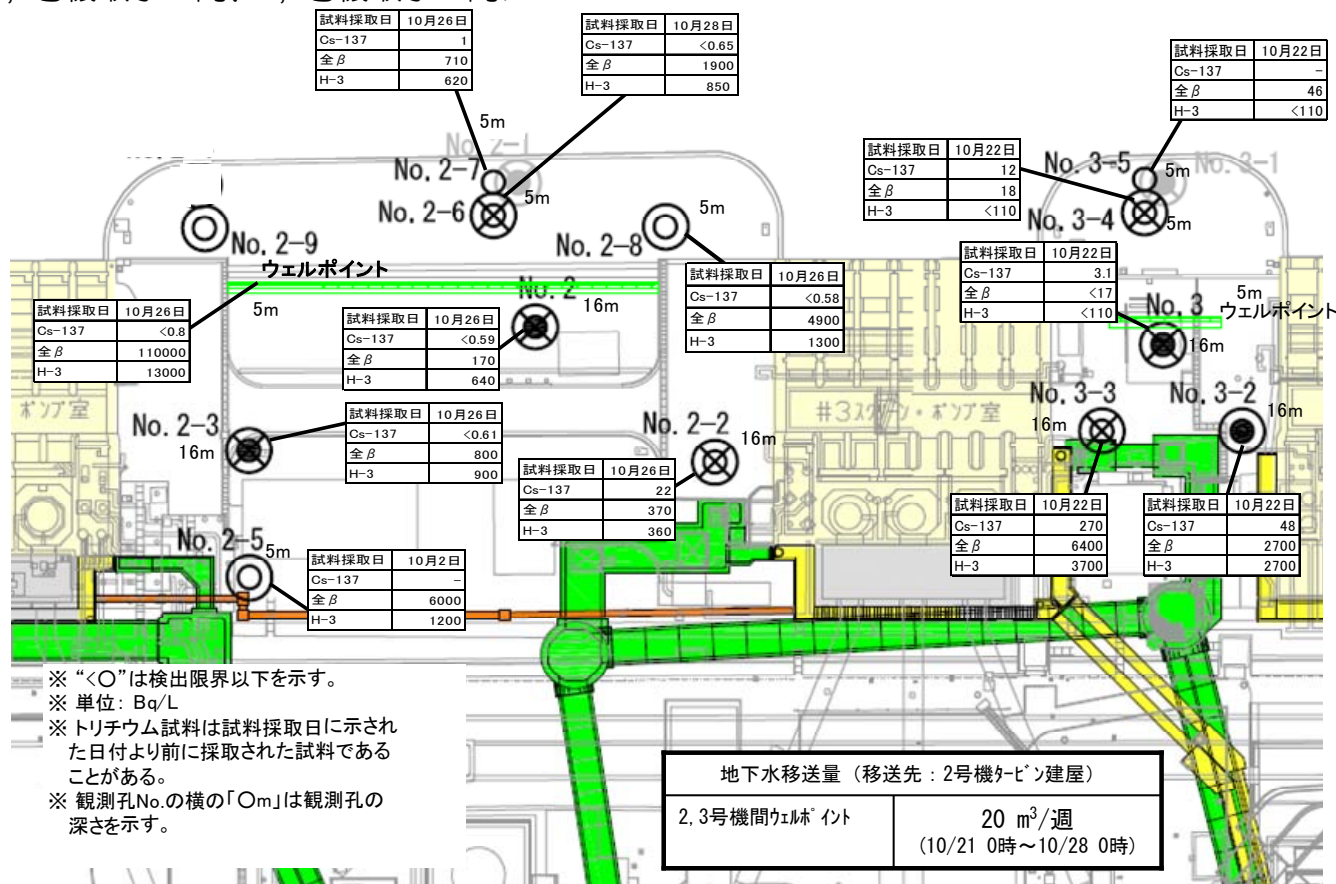
※ “○”は検出限界以下を示す。  
 ※ 単位: Bq/L  
 ※ トリチウム試料は試料採取日に示された日付より前に採取された試料であることがある。  
 ※ 観測孔No.の横の「Om」は観測孔の深さを示す。



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# タービン建屋東側の地下水濃度 (2/2)

<2,3号機取水口間、3,4号機取水口間>



※ “○”は検出限界以下を示す。  
 ※ 単位: Bq/L  
 ※ トリチウム試料は試料採取日に示された日付より前に採取された試料であることがある。  
 ※ 観測孔No.の横の「Om」は観測孔の深さを示す。



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# タービン建屋東側の地下水濃度の状況(1/2)

## <1号機北側エリア>

- H-3濃度が高い海側のNo.0-3-2で、12/11より開始した地下水汲み上げによる効果を継続監視(1m<sup>3</sup>/日)。H-3濃度は最大で76,000Bq/L(2/6)だったが、その後低下傾向になり、現在は10,000Bq/L程度で推移している。
- No.0-1-2、No.0-4で7月からH-3濃度が上昇傾向にあり、現在は、それぞれ8,000Bq/L程度で推移している。

## <1,2号機取水口間エリア>

- No.1-6で全β濃度が1,000,000Bq/L前後で推移していたが、10月に7,800,000Bq/Lまで上昇し、現在は3,000,000Bq/L程度となっている。
- No.1-14でH-3濃度が10,000Bq/L前後で推移していたが、10月以降低下し1,000Bq/L前後となっている。全β濃度は2月に400Bq/L前後で推移していたが、3月より上昇傾向にあり現在は20,000Bq/L前後で推移している。
- No.1-16で全β濃度が3,100,000Bq/Lまで上昇したが、2月中旬より低下し現在は600,000Bq/L前後で推移している。H-3濃度は7,000Bq/L前後で推移していたが、10月以降低下し4,000Bq/L前後となっている。1/29より開始したNo.1-16(P)の地下水汲み上げによる効果を継続監視中(1m<sup>3</sup>/日)。
- No.1-17でH-3濃度は10,000Bq/L前後で推移していたが、10月より上昇し160,000Bq/Lとなったが、現在は80,000Bq/L程度となっている。全β濃度は3月より上昇傾向にあり10月に1,200,000Bq/Lまで上昇したが、現在30,000Bq/L程度となっている。

# タービン建屋東側の地下水濃度の状況(2/2)

## <2,3号機取水口間エリア>

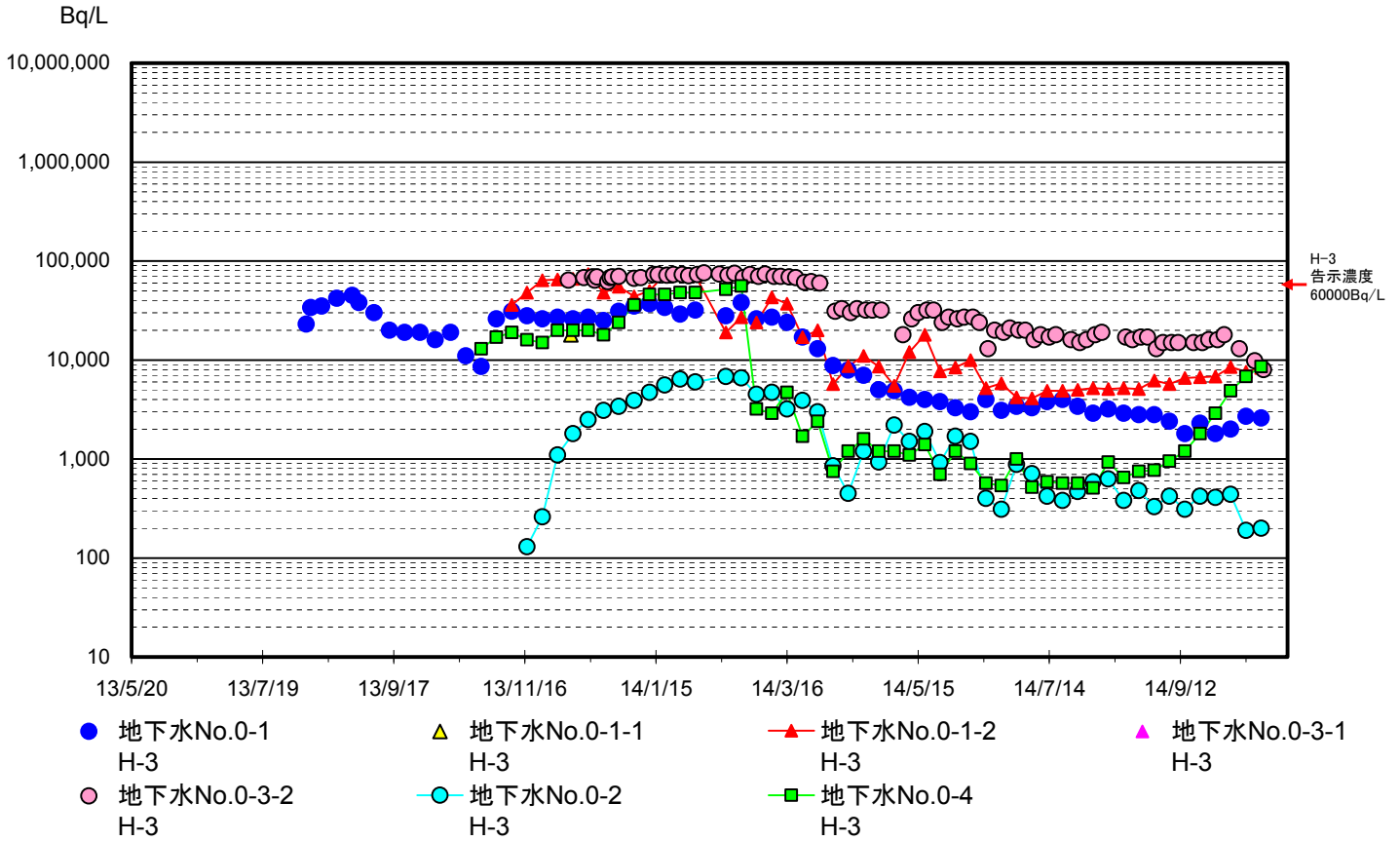
- 2,3号機取水口間は、ウェルポイント北側でH-3濃度と全β濃度が高い状況。H-3濃度について4月から上昇傾向にあり、現在、13,000Bq/L程度で推移している。
- No.2、No.2-2、No.2-3、No.2-6では、全β、H-3濃度とも横ばいで推移し、上昇は見られていない。
- 地盤改良の外側のNo.2-7は昨年11月からモニタリングを開始し、全βは20Bq/L前後であったが、徐々に上昇し、1,000Bq/L程度で推移。
- 観測孔No.2-8は今年2月よりモニタリングを開始し、全βは1,000Bq/L前後だったが、徐々に上昇し、現在は5,000Bq/L前後となっている。
- 地下水濃度の高い北側で、ウェルポイント北側の地下水汲み上げによる効果を継続監視(12/8~2/13:2m<sup>3</sup>/日、2/14~:4m<sup>3</sup>/日)。

## <3,4号機取水口間エリア>

- 各観測孔とも放射性物質濃度は低いレベルで推移。

# 1号機北側の地下水の濃度推移(1/2)

1号機北側地下水のトリチウム濃度の推移

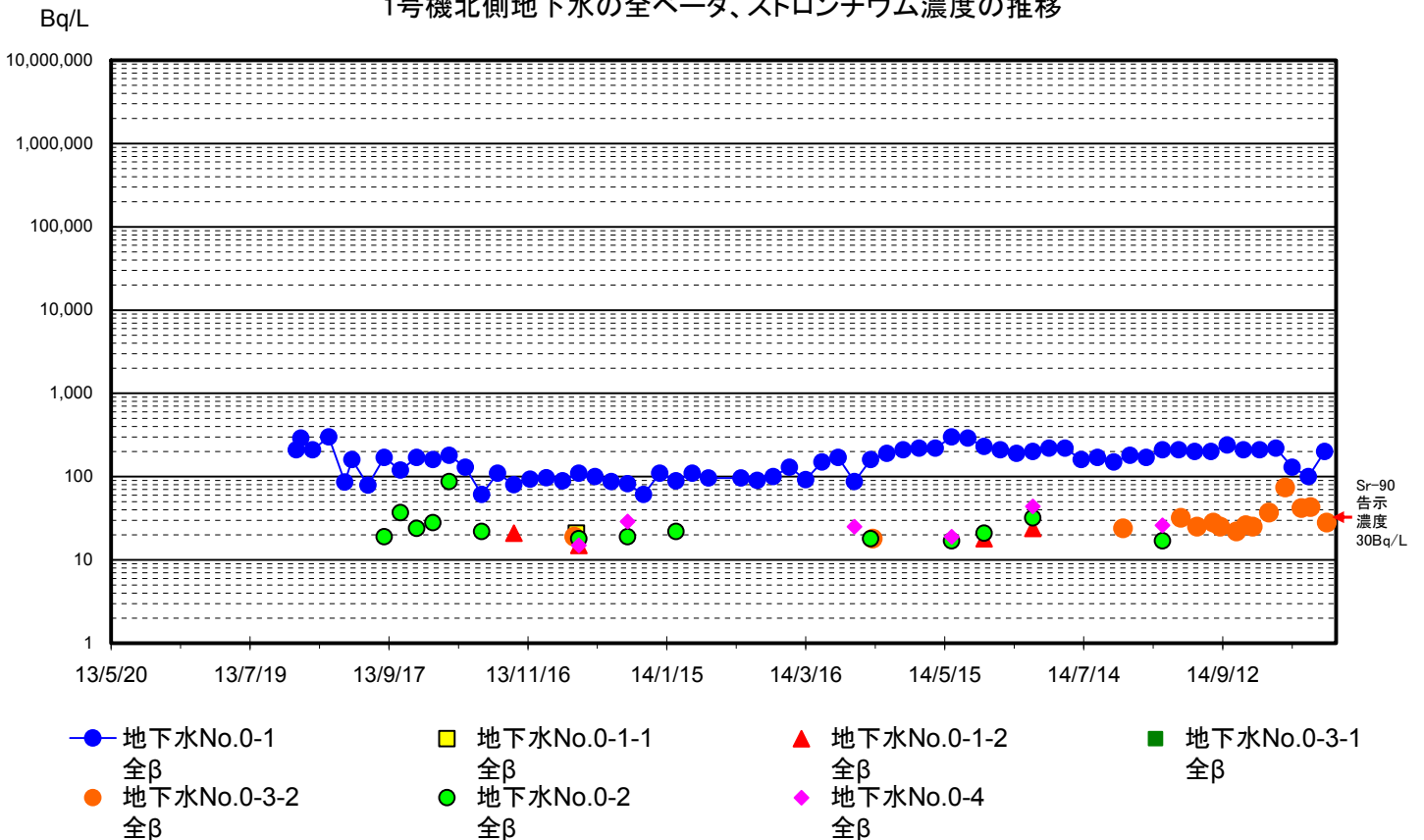


東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 1号機北側の地下水の濃度推移(2/2)

1号機北側地下水の全ベータ、ストロンチウム濃度の推移

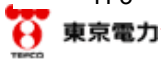
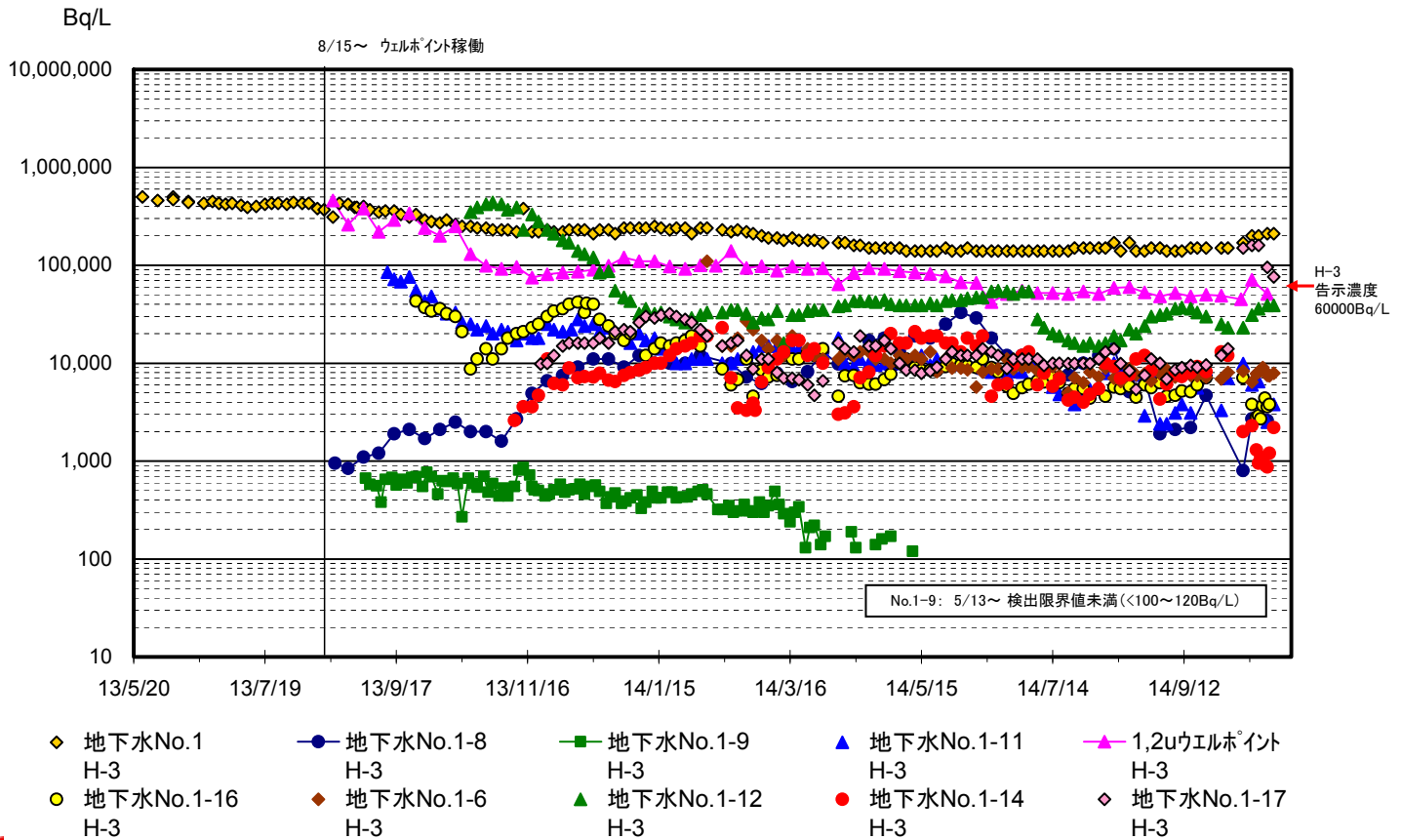


東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 1,2号機取水口間の地下水の濃度推移(1/2)

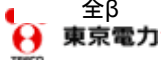
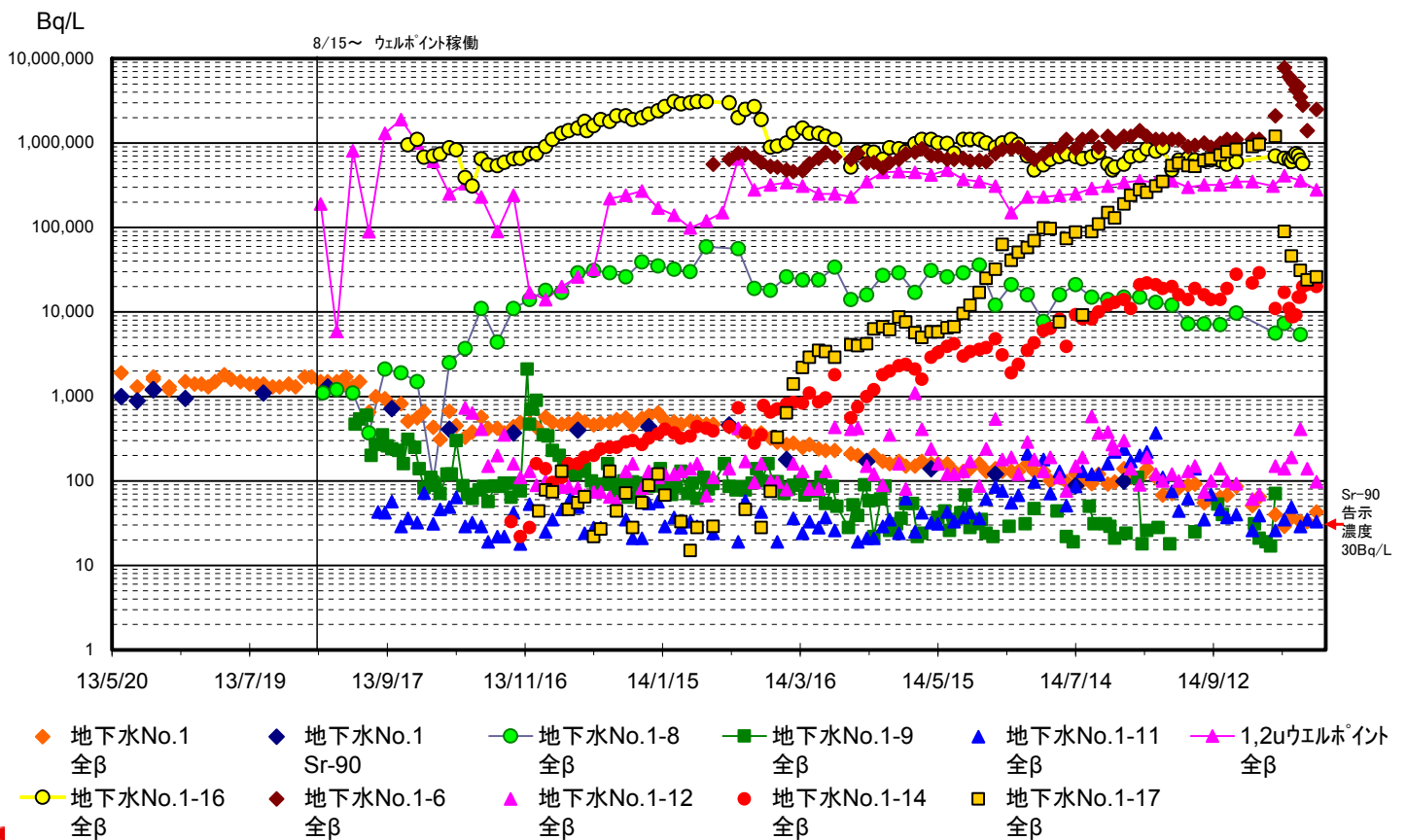
1,2号機取水口間地下水のトリチウム濃度の推移



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 1,2号機取水口間の地下水の濃度推移(2/2)

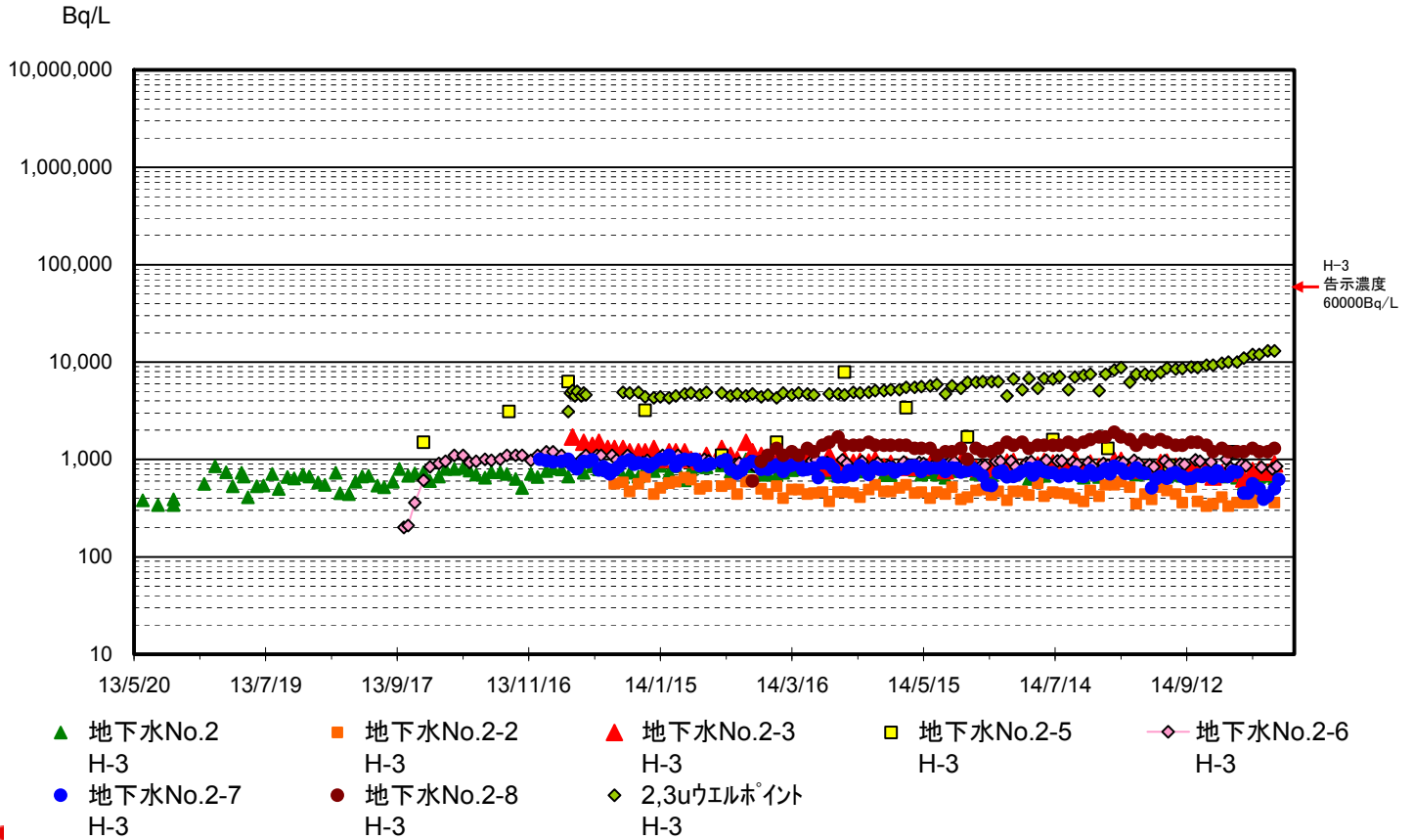
1,2号機取水口間地下水の全ベータ、ストロンチウム濃度の推移



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 2,3号機取水口間の地下水の濃度推移(1/2)

2,3号機取水口間地下水のトリチウム濃度の推移

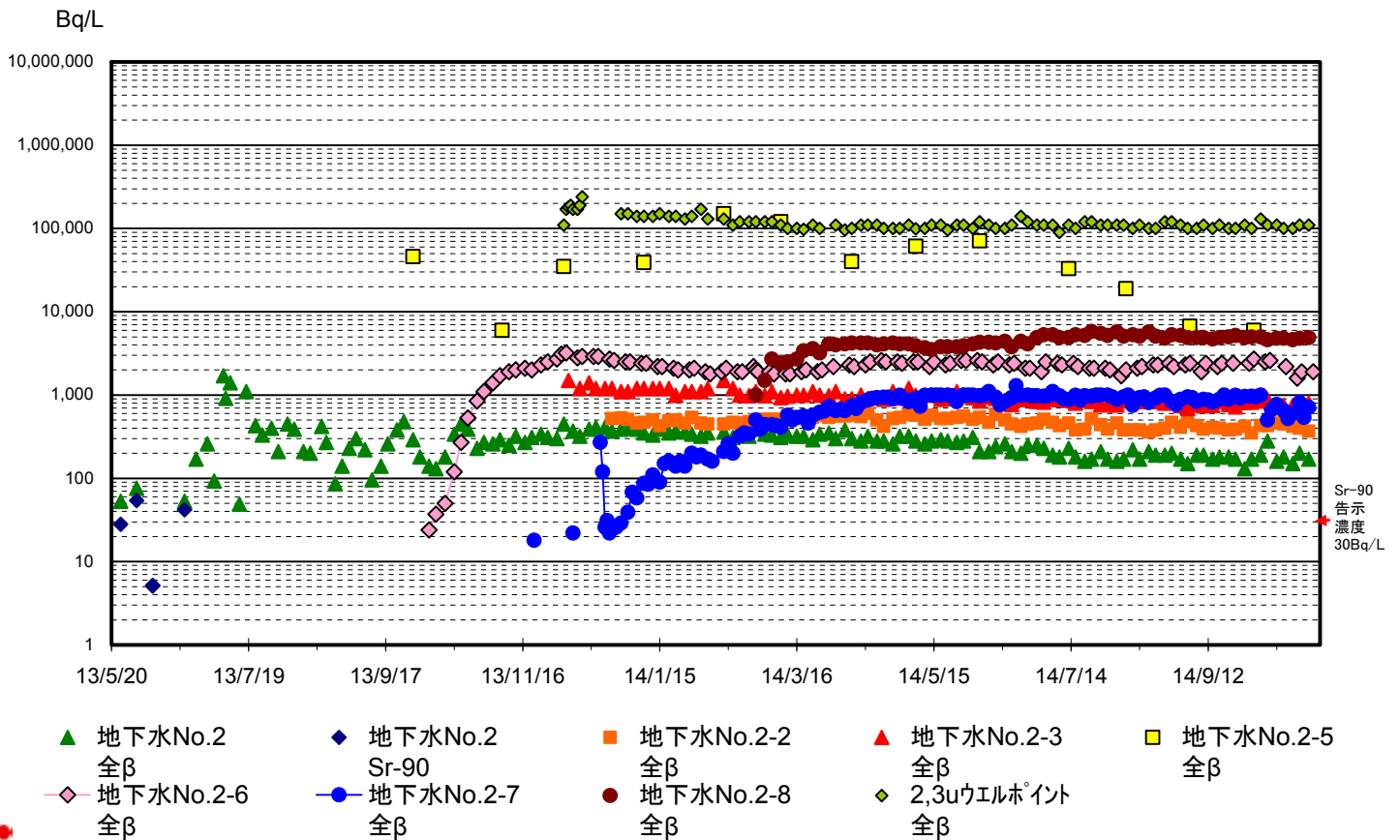


東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 2,3号機取水口間の地下水の濃度推移(2/2)

2,3号機取水口間地下水の全ベータ、ストロンチウム濃度の推移

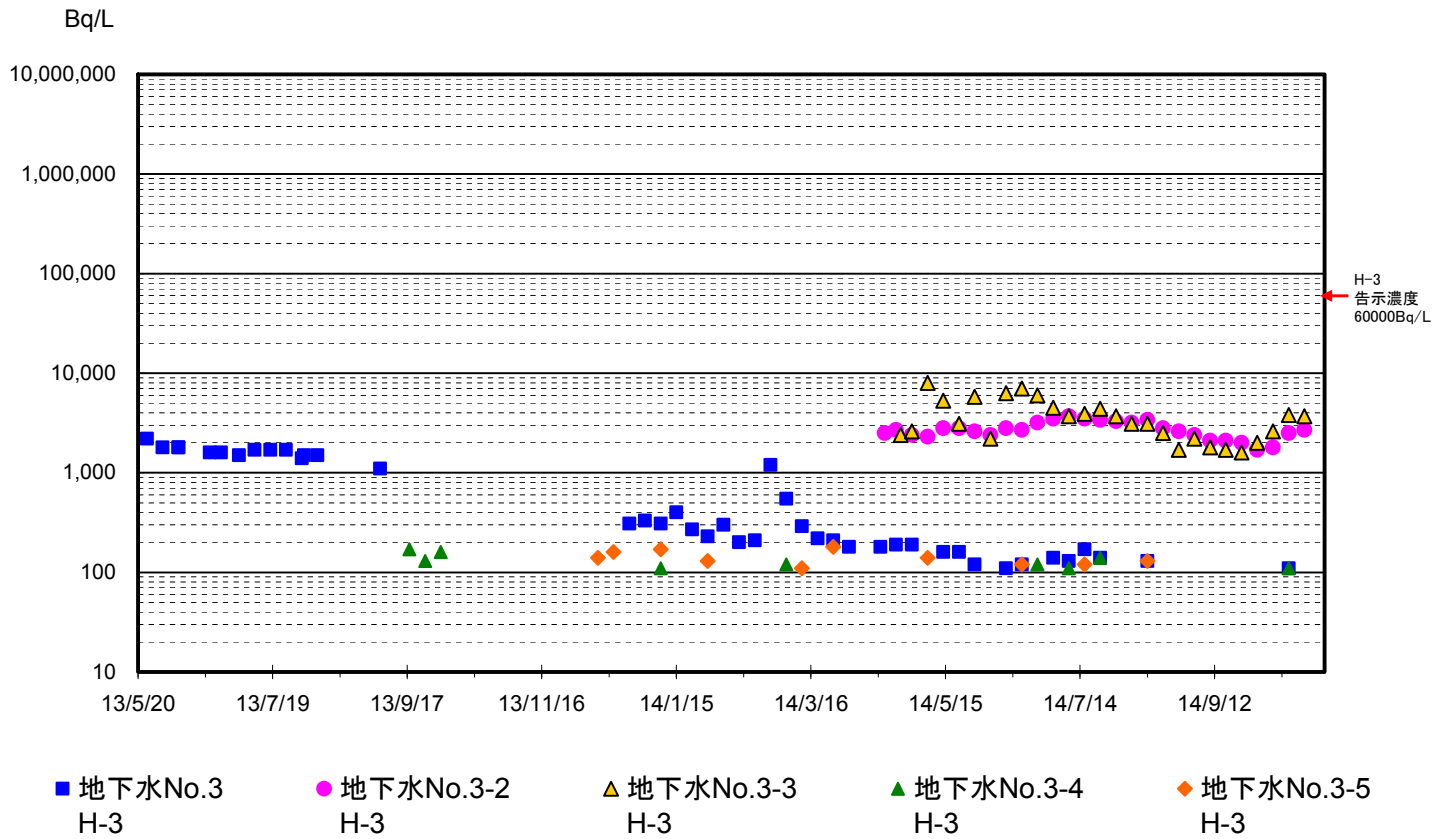


東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 3,4号機取水口間の地下水の濃度推移(1/2)

3,4号機取水口間地下水のトリチウム濃度の推移

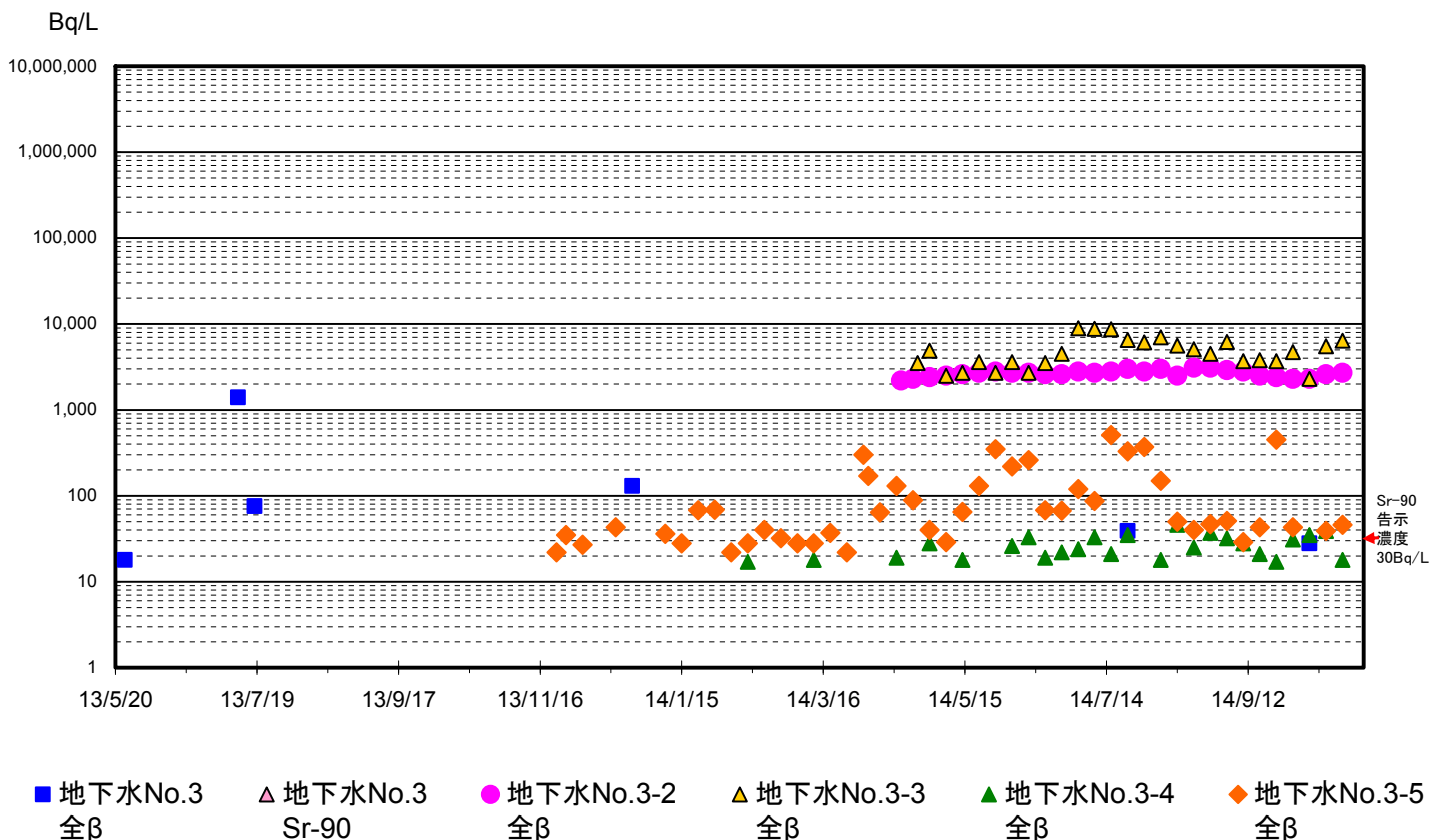


東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 3,4号機取水口間の地下水の濃度推移(2/2)

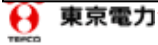
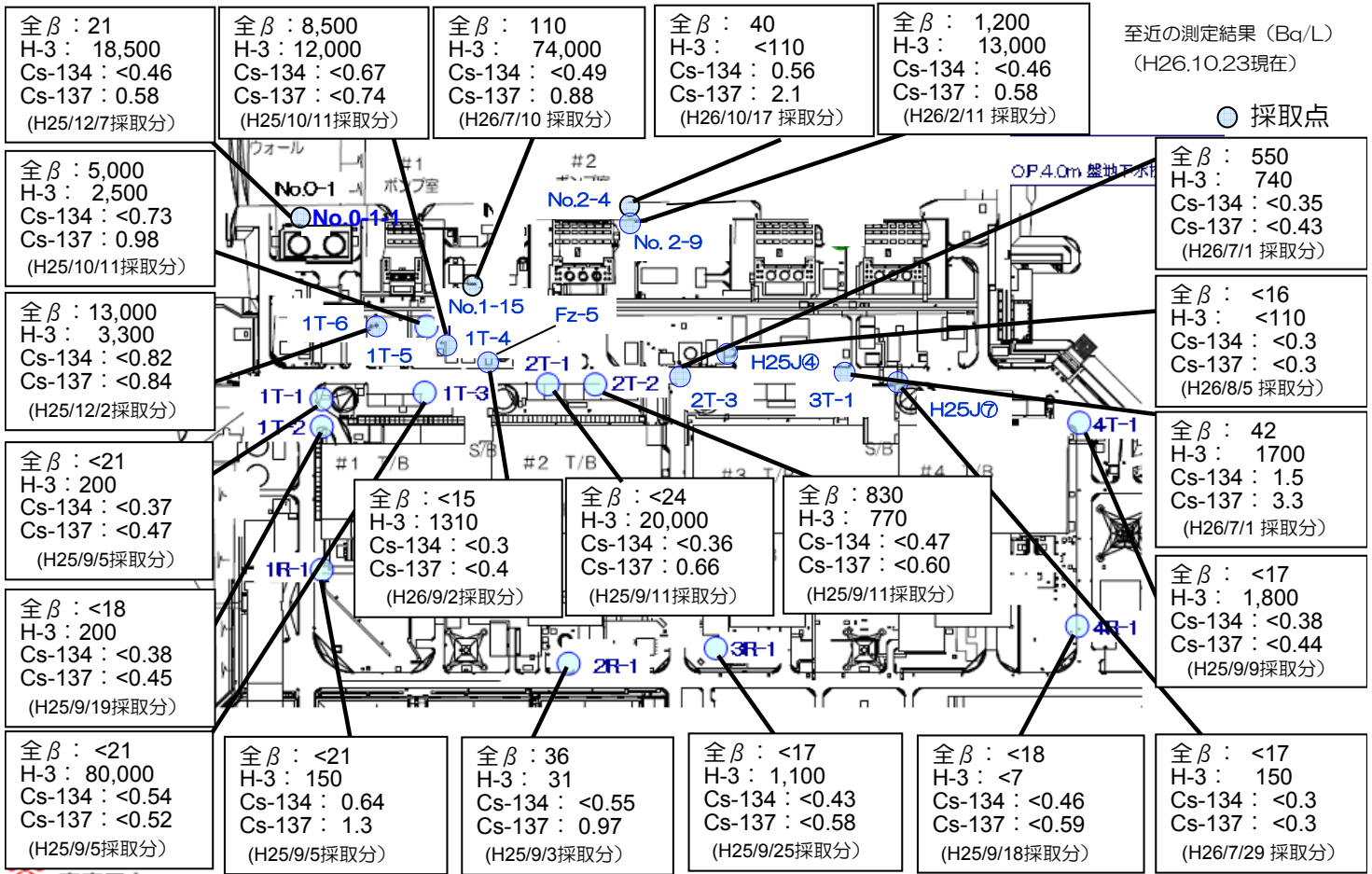
3,4号機取水口間地下水の全ベータ、ストロンチウム濃度の推移



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

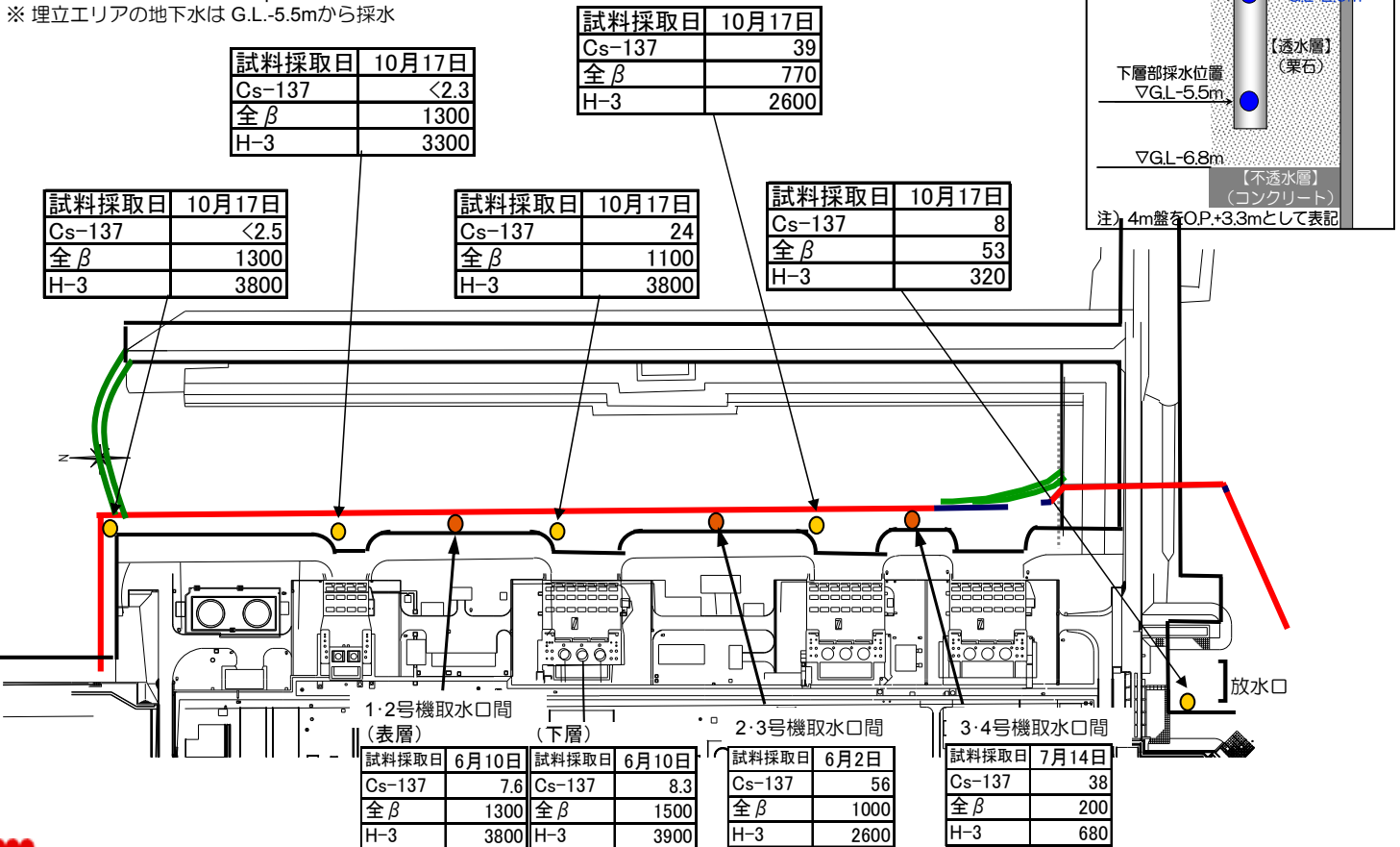
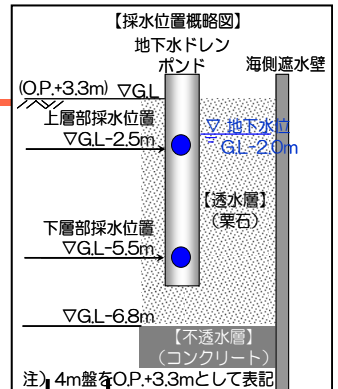
# 建屋周辺の地下水濃度測定結果



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

## タービン建屋東側の地下水観測孔の位置 (埋立エリア)

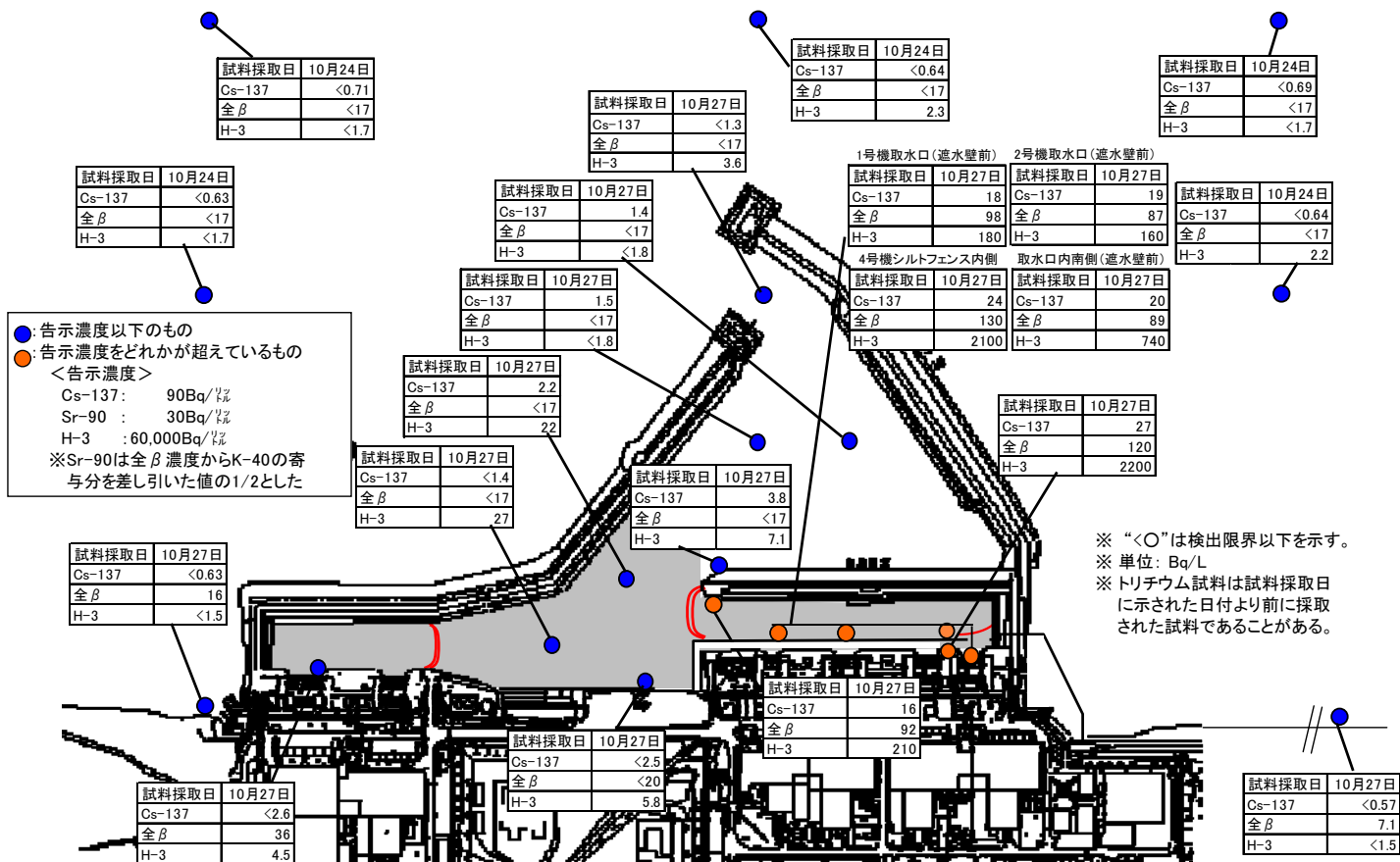
※ ”<0” は検出限界以下を示す。  
 ※ 単位：放射性物質濃度 Bq/L  
 ※ 埋立エリアの地下水は G.L.-5.5mから採水



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社



# 港湾内外の海水濃度



## 港湾内外の海水濃度の状況

### <1～4号機取水口エリア>

- 遮水壁内側の埋立工事の進捗に伴い、海側遮水壁の内側では3月以降、H-3、全β濃度の上昇が見られ、現在は高めの濃度で推移している。
- 遮水壁の外側についてはCs-137、H-3、全β濃度とも東波除堤北側と同レベルで低い濃度で推移している。

### <港湾内エリア>

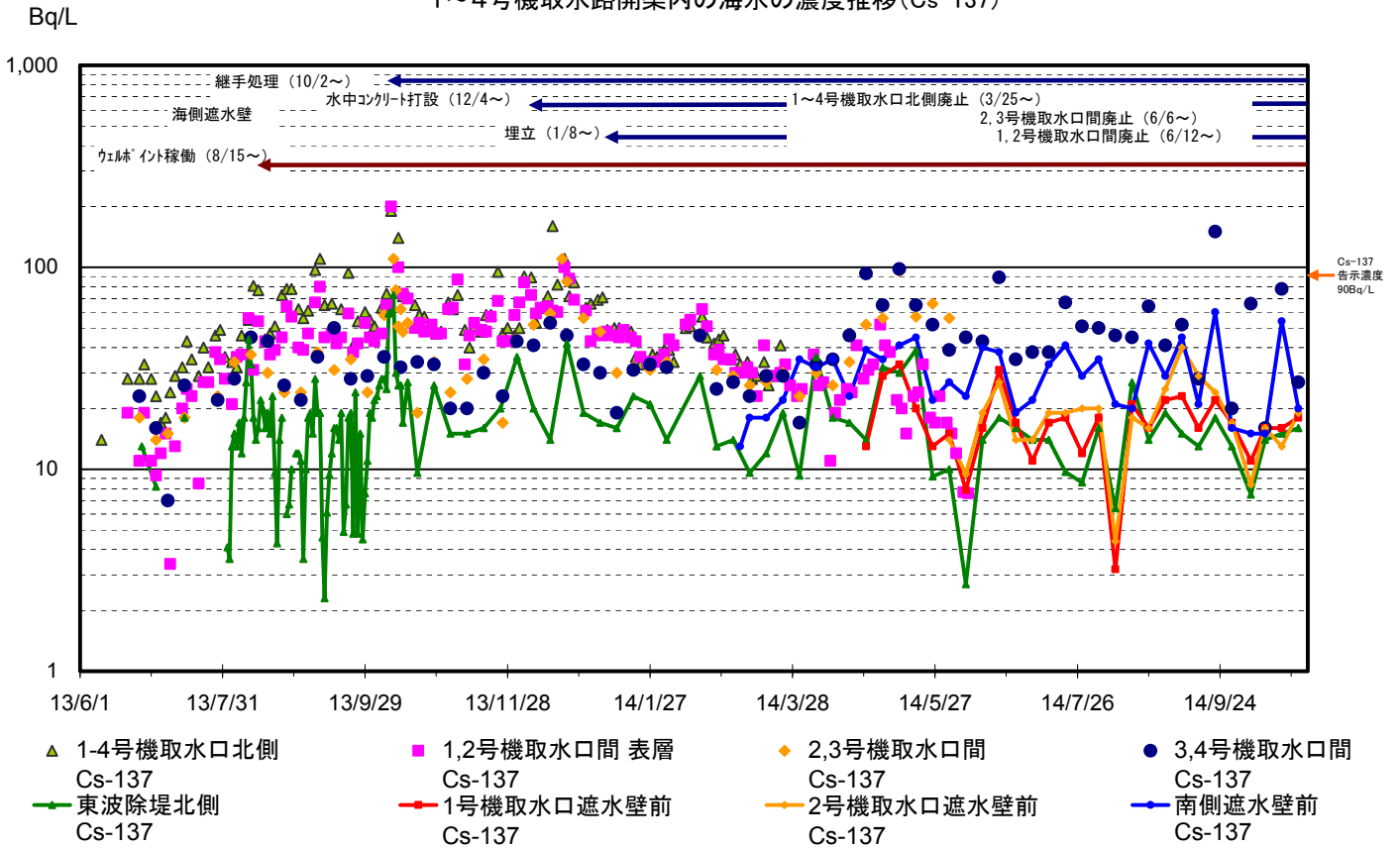
- 緩やかな低下が見られる。

### <港湾口、港湾外エリア>

- これまでの変動の範囲で推移。

# 1～4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(1/3)

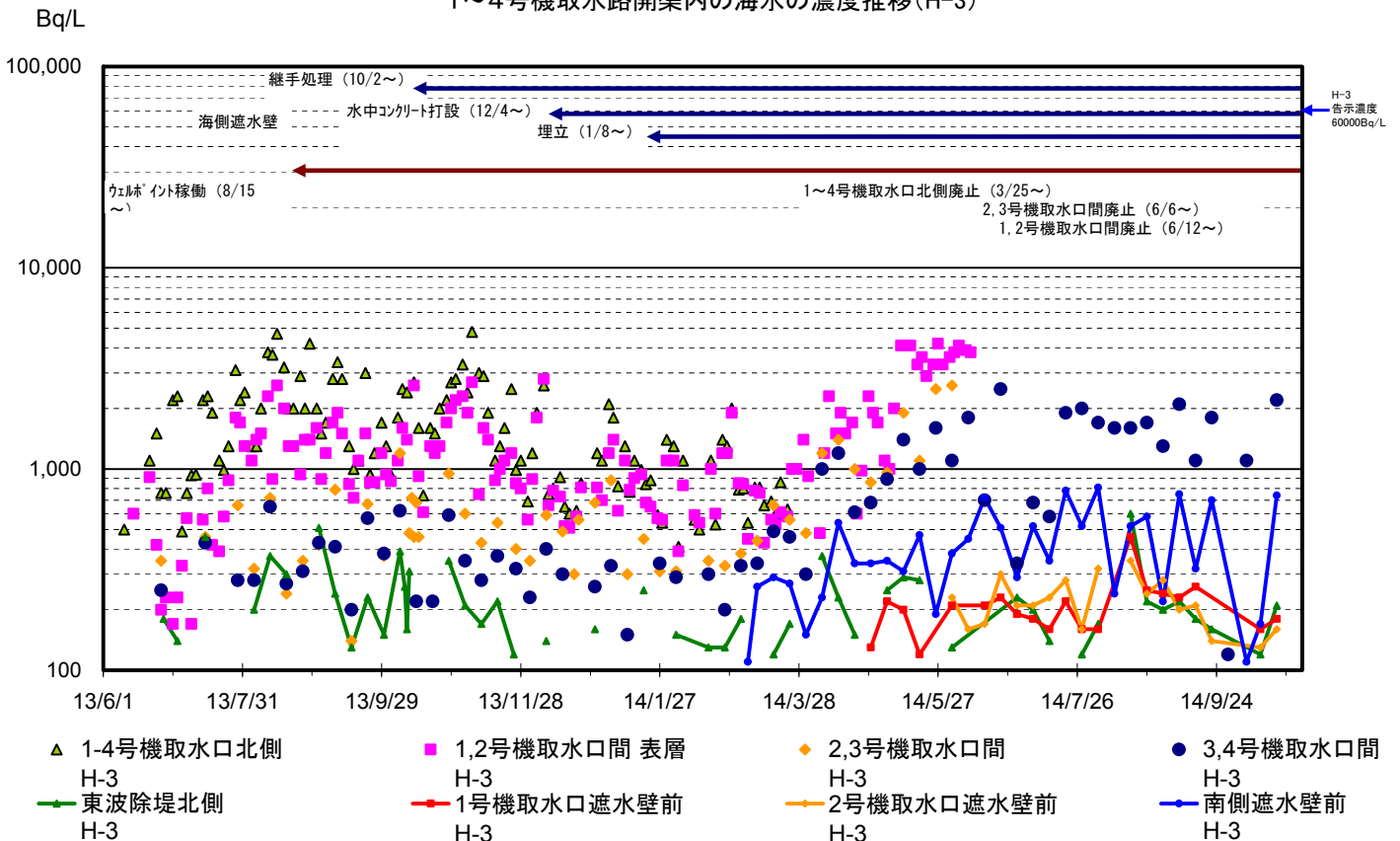
1～4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(Cs-137)



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 1～4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(2/3)

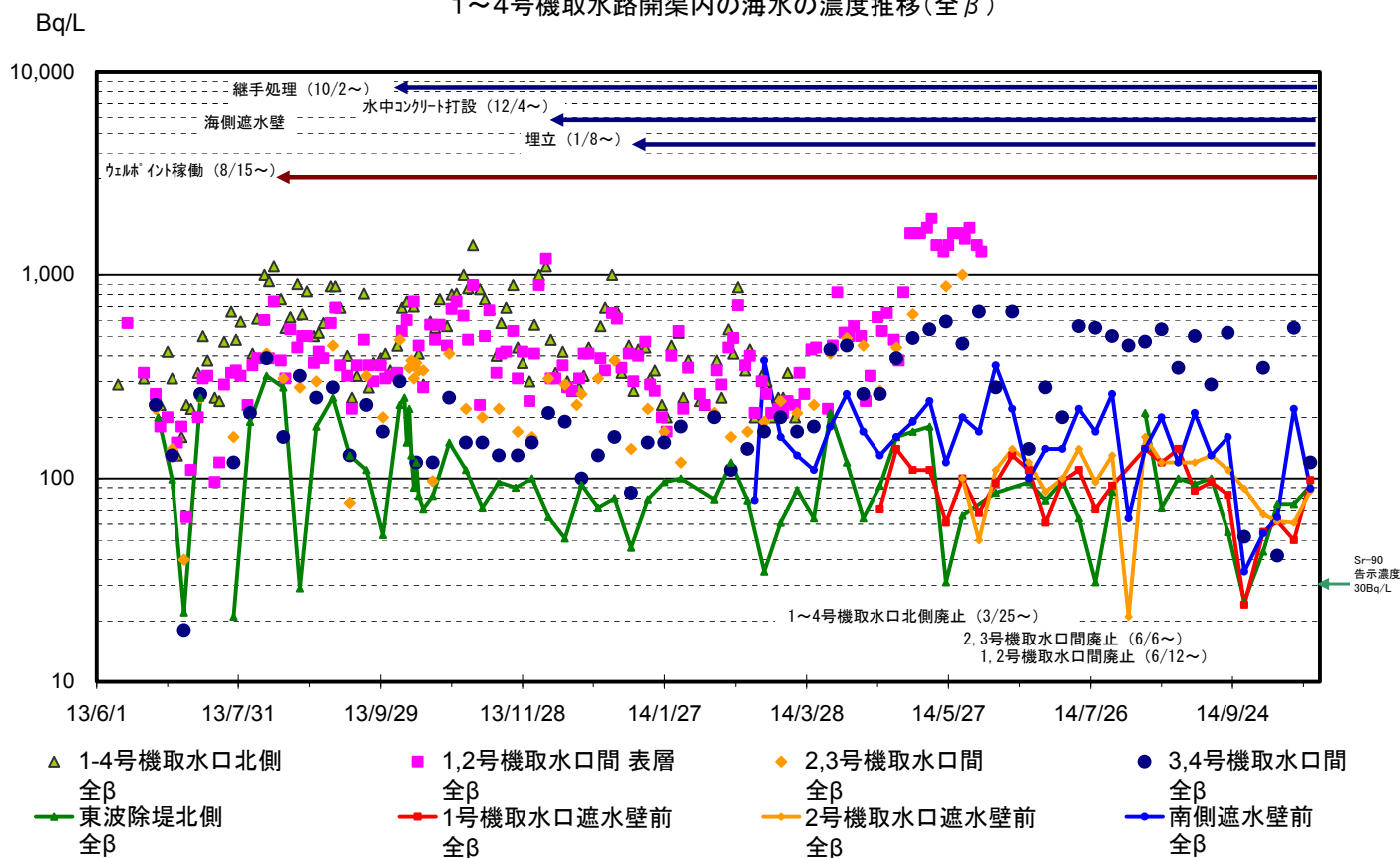
1～4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(H-3)



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 1～4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(3/3)

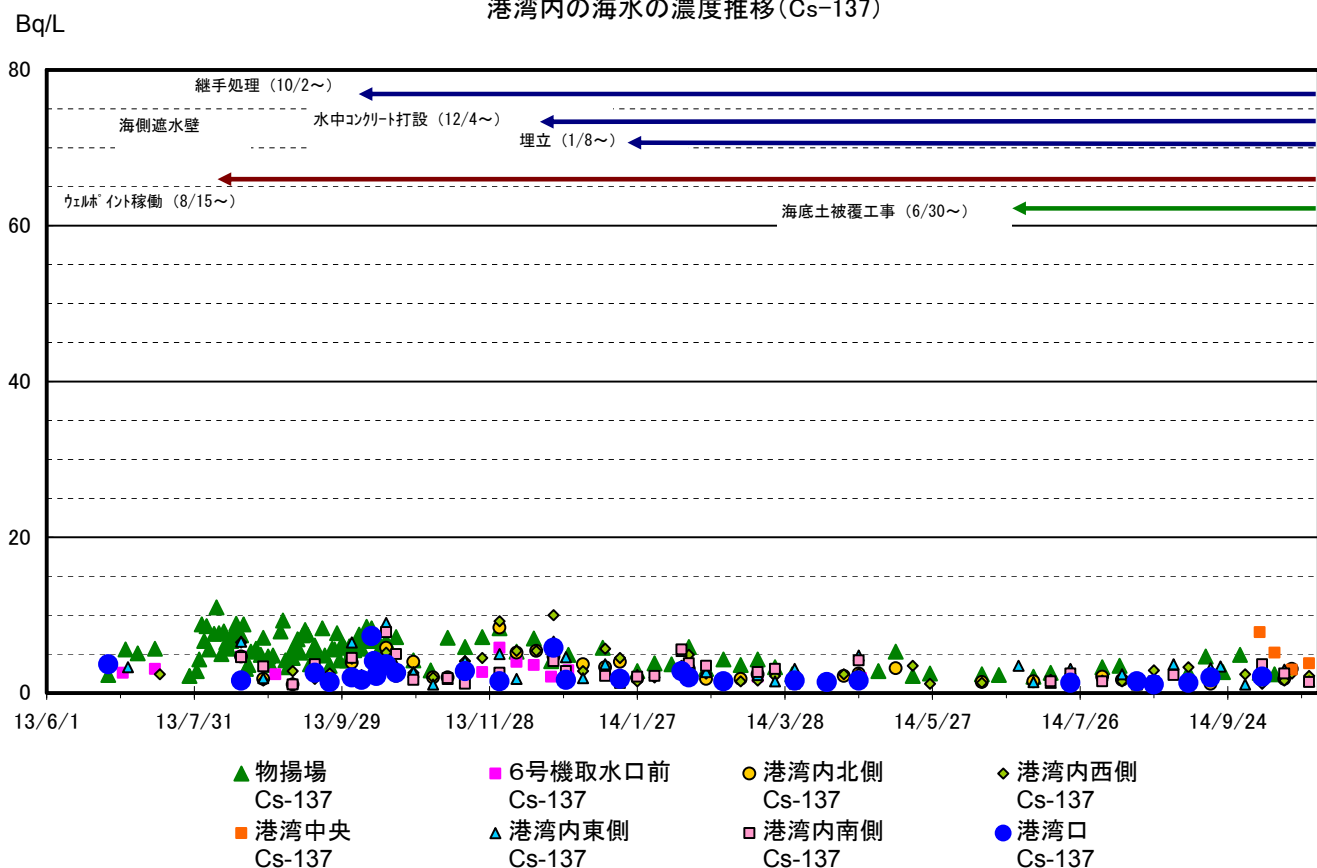
1～4号機取水路開渠内の海水の濃度推移(全β)



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

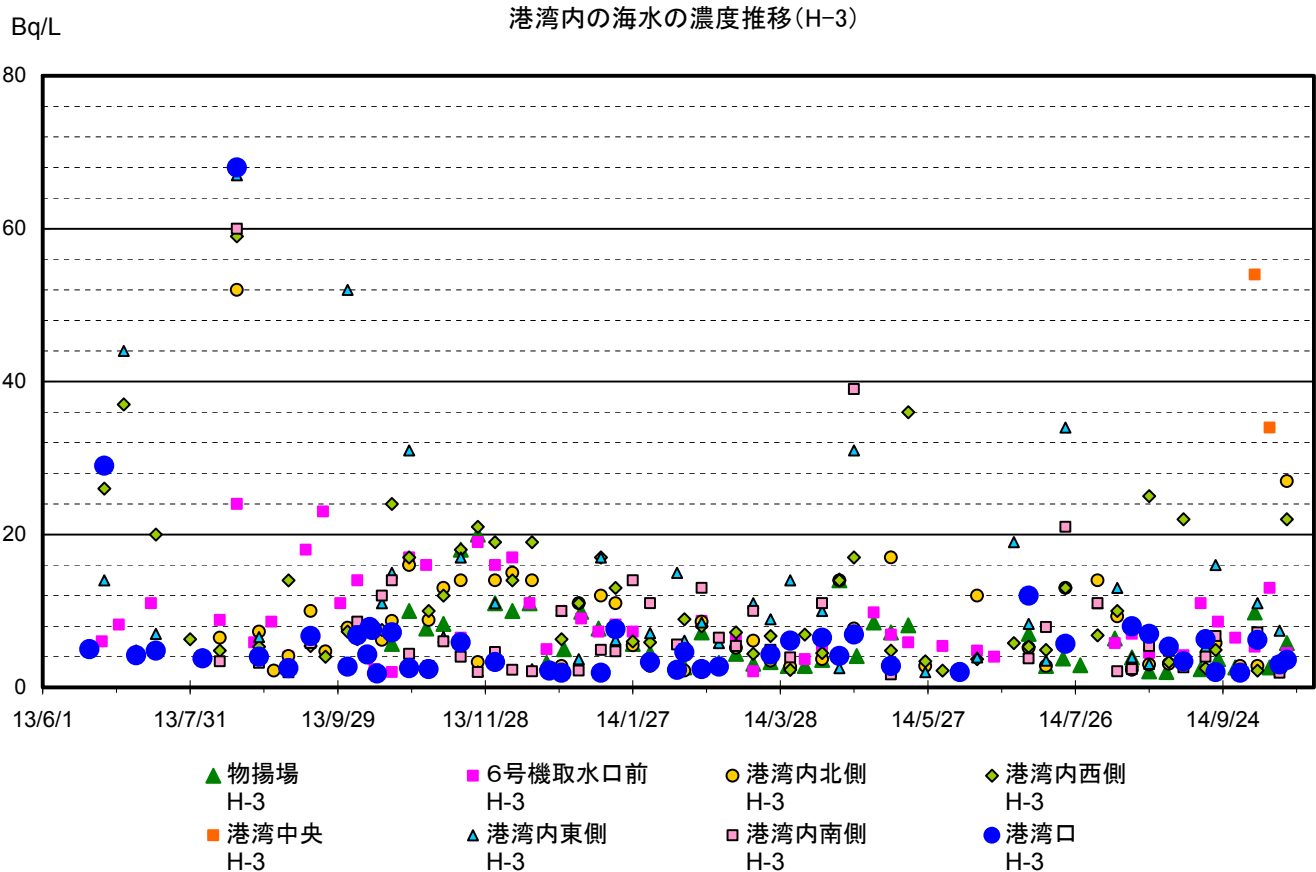
# 港湾内の海水の濃度推移(1/3)

港湾内の海水の濃度推移(Cs-137)



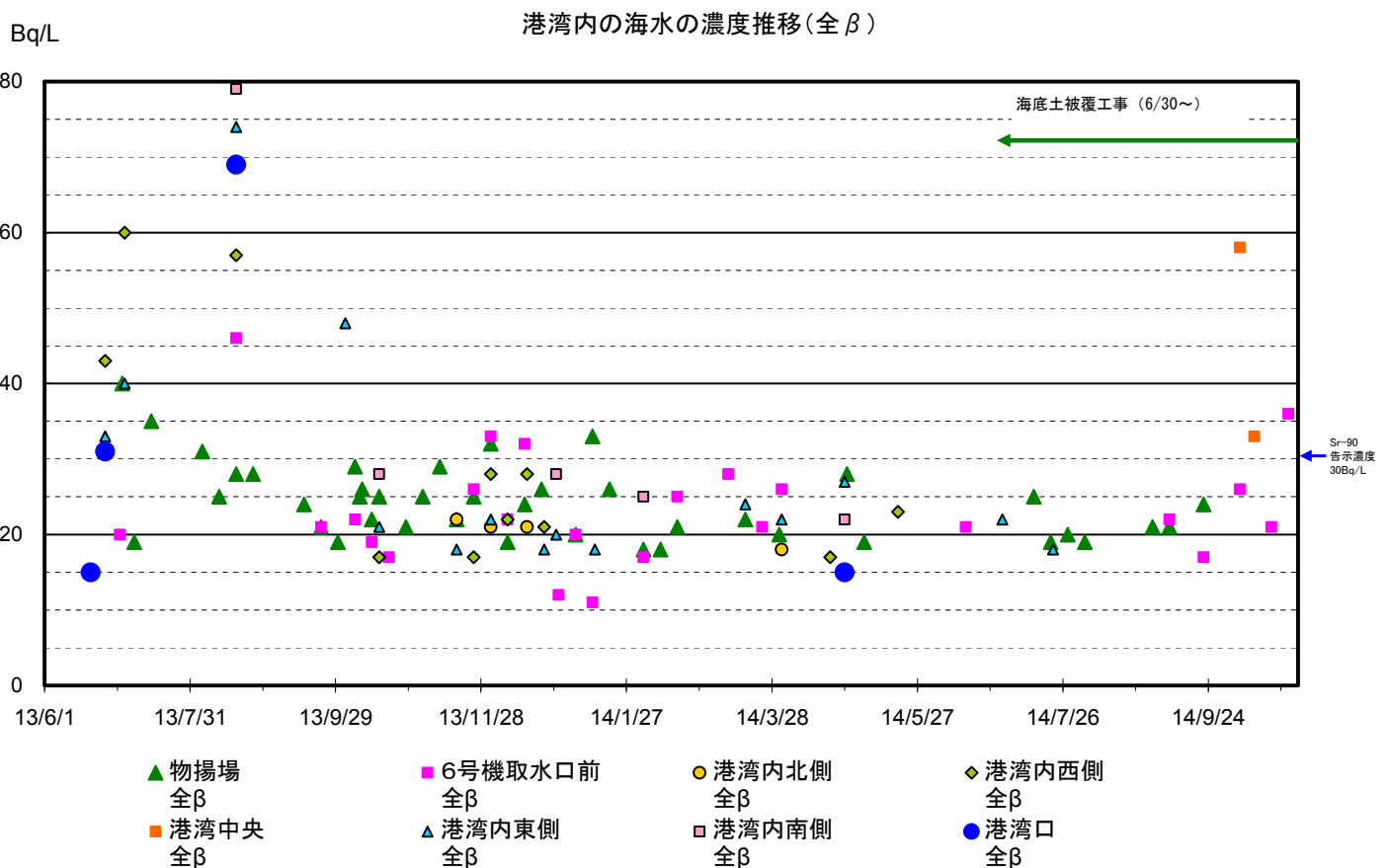
無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 港湾内の海水の濃度推移(2/3)



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

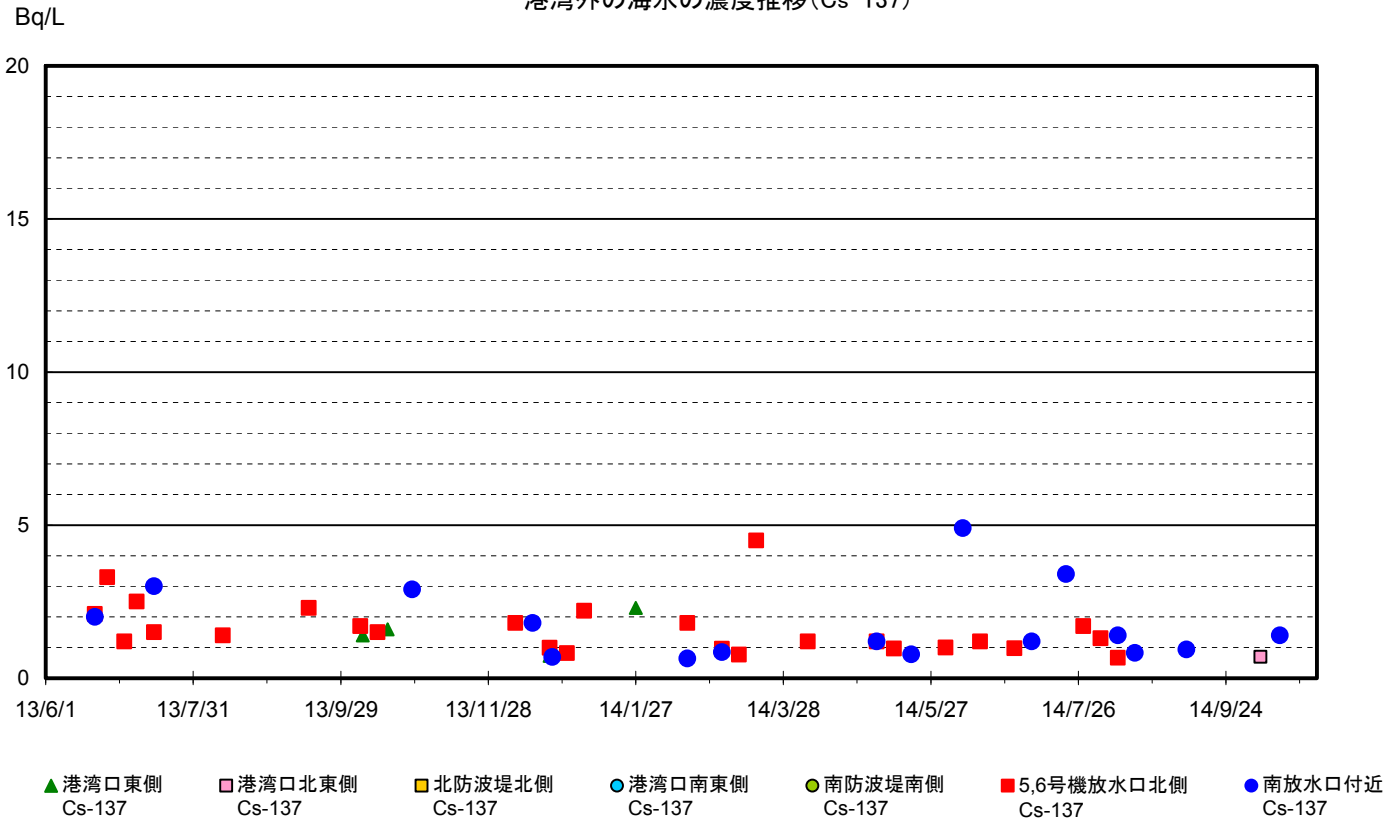
# 港湾内の海水の濃度推移(3/3)



無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

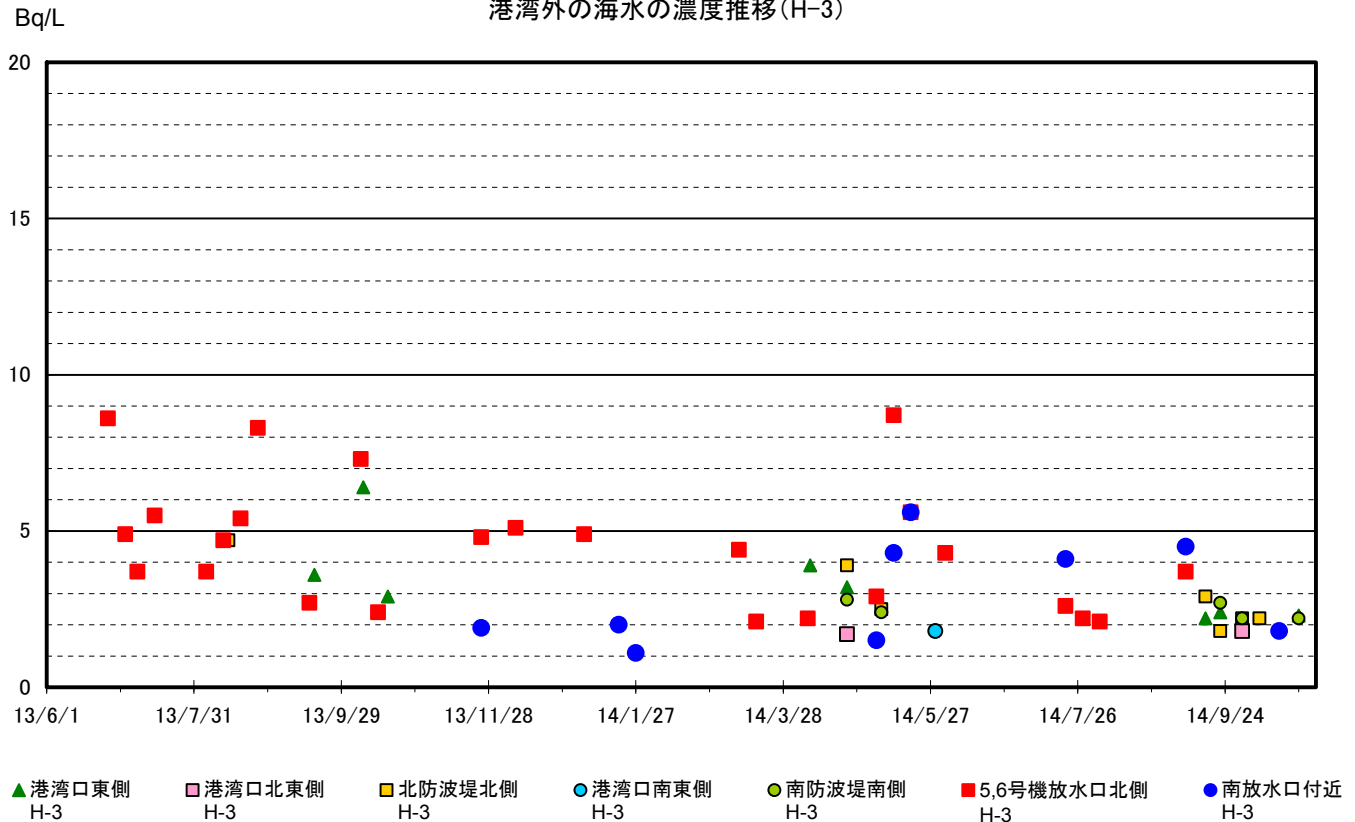
# 港湾外の海水の濃度推移(1/3)

港湾外の海水の濃度推移 (Cs-137)



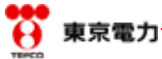
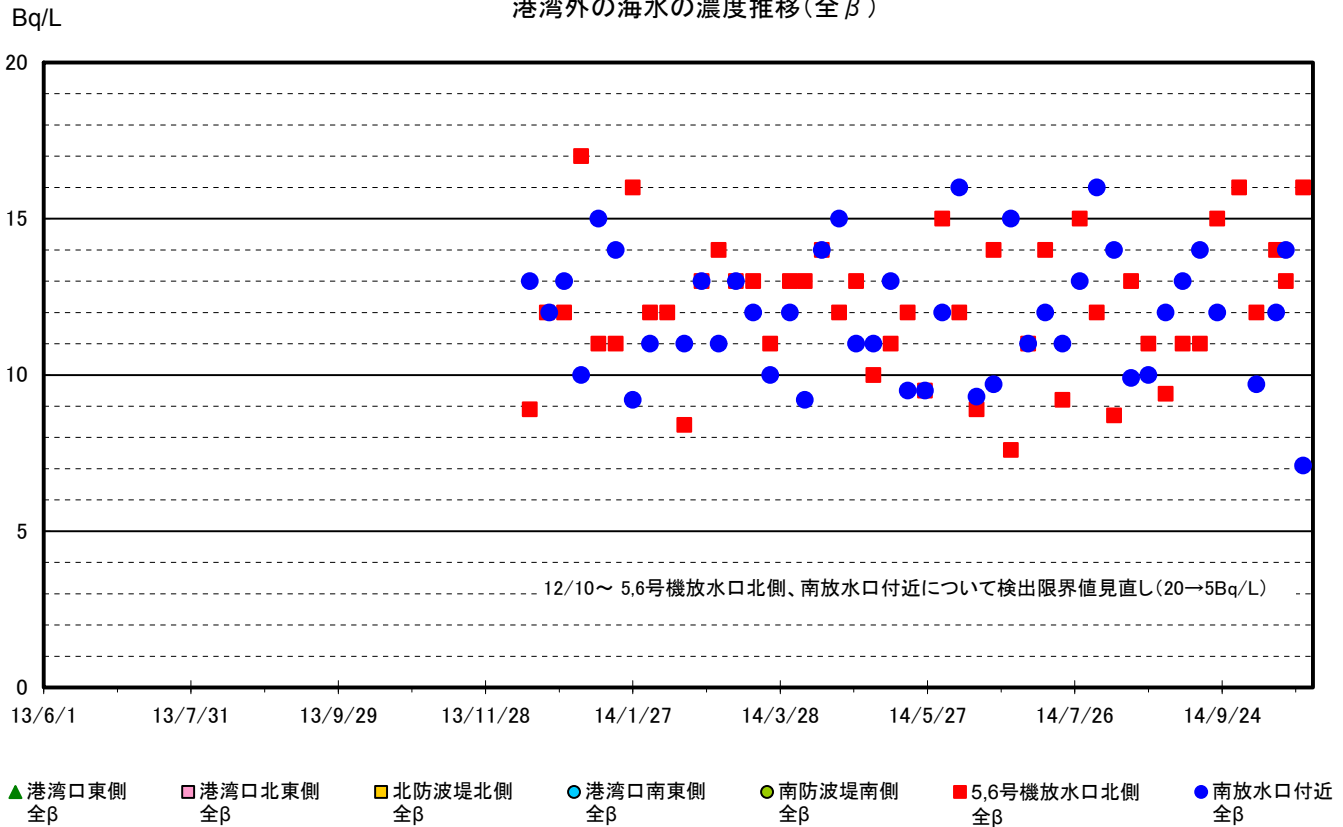
# 港湾外の海水の濃度推移(2/3)

港湾外の海水の濃度推移 (H-3)



# 港湾外の海水の濃度推移(3/3)

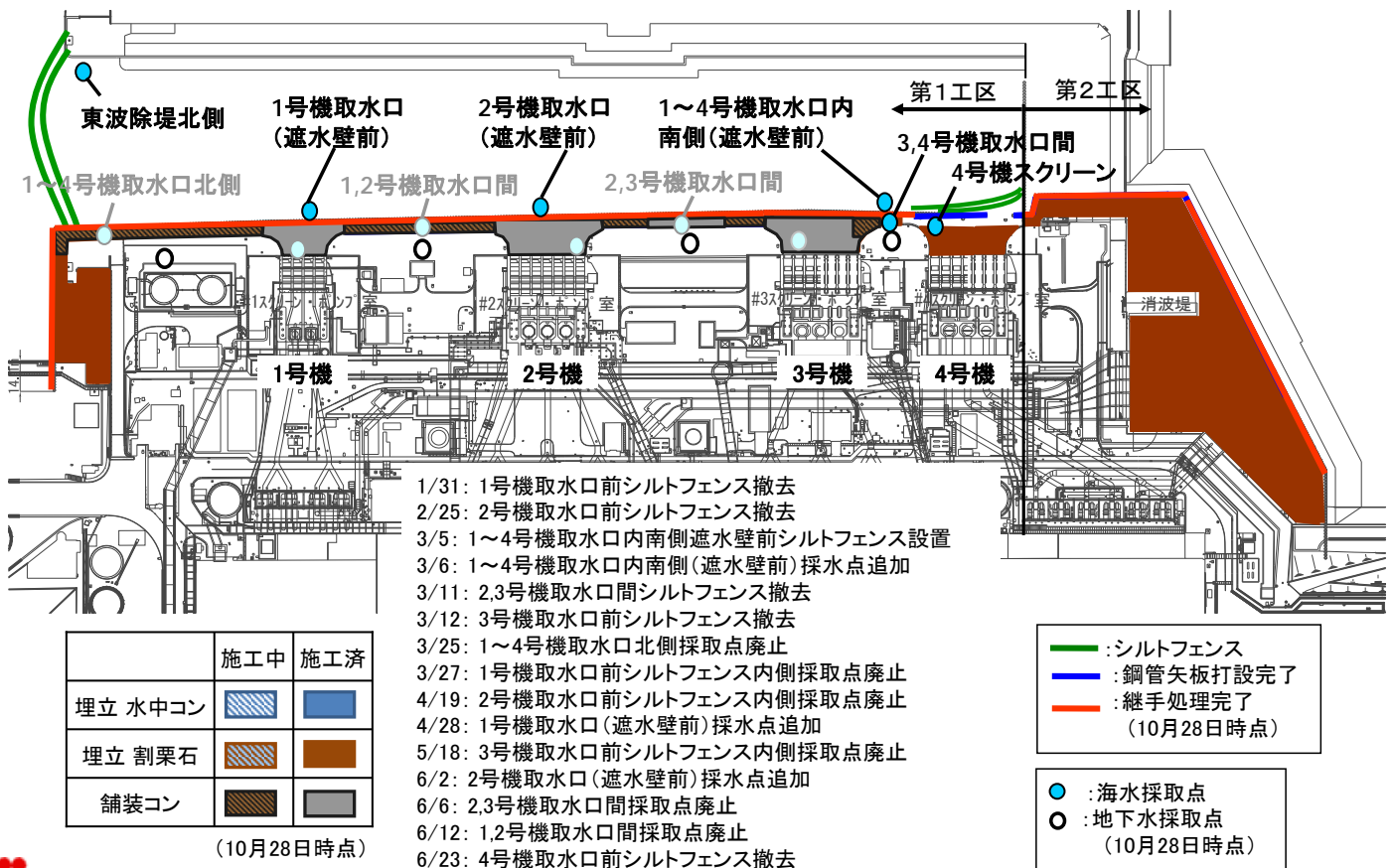
港湾外の海水の濃度推移(全β)



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

## 海側遮水壁設置工事の進捗と海水採取点の見直し



東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 港湾内海底土被覆工事進捗状況

10月28日現在：28%

施工エリア	施工完了面積 (m <sup>2</sup> )	施工面積 (m <sup>2</sup> )
エリア①被覆工(A)	50,900 (100.0%)	50,900
エリア②被覆工(B)	0 (0.0%)	129,700
合計	50,900 (28.2%)	180,600

